

No. 177
2016.12



広報ねば

私たちの村

人口と世帯 28年10月31日現在

総人口	980人
男	481人
女	499人
世帯数	431世帯

村の木 すぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



▲10月4日 梨の平にて撮影

農家の高齢化が進む中、村では遊休農地の解消を図っています。写真は作付けを推奨している作物の一つであるソバで、きれいな白い花を咲かせました。

12月号の主な内容

やまあいフェスティバル 他	2ページ
消防団秋季訓練 他	3ページ
少年少女・幼年消防クラブ活動 他	4ページ
各種お知らせ	5ページ
フォトコンテスト、戸籍だより	6ページ

第30回根羽やまあいフェスティバル

10月9日に盛大に開催される

今年で30回目を迎えた根羽やまあいフェスティバルが10月9日に盛大に開催されました。

8日に予定されていた村民大運動会は残念ながら雨天中止となりましたが、9日にはトレーニングセンター内ステージでのエキサイティング大イ

リユージョンマジックショーや仮面ライダーショーをはじめ、根羽中学校吹奏楽部・根羽小学校ふるさと太鼓の演奏

会、風越高校吹奏楽部演奏会、文化協会による芸能発表等、功労者表彰が行われました。グラウンドでは、商工会・J・A・ねば杉つ子餅・婦人会・

森林組合・信州大学農学部による農産物等の各種販売に加え、ふれあい移動動物園など、盛況に開催され、一日中

にぎやかな歓声が響きました。また、住民グループ「活かまい会」の皆さんによる鮎のからすみ作り体験や、森林組合の木工品の展示・木工体験

が行われ、トレーニングセンター内展示ブースでは、根羽村の天然記念物であるネバタゴカエルを多くの人に知ってもらうために作成された成長記録集をはじめとする観光協会のフォトコンテスト作品や社協、小学校、中学校等による作品展示も行われました。

平成28年度 根羽村功労者表彰

村では毎年、行政・経済・文化・その他各方面で顕著な功績や他の模範となる善行による優れた皆さんや団体を表彰しています。

この表彰は、表彰審査委員会の答申を受けて行うもので、10月9日のやまあいフェスティバルのステージで表彰されました。表彰者は次のとおりです。

・功労者

- 片桐 貴伸 様
- 佐々木 秀彦 様
- 鈴木 忠一 様
- 石原 しま江 様
- 片桐 隆則 様

・感謝状

- 文川 友海 様 名古屋市
- 文川 人海 様 名古屋市
- 名古屋城北ロータリークラブ 様 名古屋市



大イリュージョンマジックショーに子ども達も参加



ピアノ演奏

風越高校吹奏楽部の皆さんによる演奏



松美屋バンドによる演奏



信州大学農学部による販売



ふれあい動物園



▲功労者表彰等を受賞された方々

今年度退団予定の皆さん
(中隊訓練で号令を掛けている様子)



▲佐伯副分団長



▲石原喇叭長



▲片桐分団長

10月23日(日)午前8時30分から山村広場で消防団秋季訓練が行われました。訓練では、小隊訓練、中隊訓練、特科訓練を行いました。特科訓練では器具の取扱方法を確認しながら実際に放水しました。団員の皆さんは終始訓練に集中し有意義な訓練となりました。



▲訓練の様子

根羽村消防団
秋季訓練

10月23日(日)午前8時30分から山村広場で消防団秋季訓練が行われました。訓練では、小隊訓練、中隊訓練、特科訓練を行いました。特科訓練では器具の取扱方法を確認しながら実際に放水しました。団員の皆さんは終始訓練に集中し有意義な訓練となりました。

アイシン親子わんぱく体験隊
「秋の陣」が開催されました



16根羽村親子わんぱく体験隊「秋の陣」が11月5日にネバランド周辺で行われました。当日はアイシンググループの社員とご家族、安城こもれび会の皆さんあわせて130名余の方が参加され、遊歩道づくり、植樹活動、プラント作り等の体験をされました。「秋の陣」は、森林での活動体験を通じて、自然環境を学ぶというテーマで行われ、楽しみながら環境意識を高めました。今後とも、アイシンググループと「森の里親促進事業」を通じて、協力して森林整備・環境保全を進めていきたいと思



▲アイシンの森看板と一緒に



▲▼手づくりのエコロード



▲ネバタゴガエルの本読み聞かせ



根羽村少年少女・幼年 消防クラブの活動について

今年7月に小学校全校児童で結成した根羽村少年少女消防クラブの初めての活動が行われました。根羽村消防団から受け取った拍子木、キャップ、法被を身につけた、1・2年生3人は学校から役場までを往復し、拍子木を打ちながら「火の用心」を呼びかけました。役場では、防火標語を元気よく読みあげてくれました。この活動は、子どもの頃から防災意識を高めてほしいという思いがあります。

また、保育園児による幼年消防クラブの活動も行われました。年長園児を先頭にして、拍子木を打ちながら、年中、年少の園児たちも一生懸命「火の用心」と大きな声で防火啓発をしました。道中、出会った村民の方にしっかりと呼びかけることができました。暖房を使う時期になりましたので、ご家庭でも火の取り扱いには十分ご注意ください。



▲元気に呼びかけをする保育園児たち

▲一生懸命防火啓発をしてくれました

～ 第4回食の文化祭 ～

11月23日に第4回食の文化祭が老人福祉センターしゃくなげで開催されました。

52名の皆さんから79品目の手料理が出品されました。村内外から150名の皆さんがお越しください、大勢で郷土料理・家庭料理を楽しみました。料理は主食・主菜・副菜から漬物・デザートまで様々な種類の品物が並び、野外では大鍋を使って猟友会の皆さんによる猪鍋調理が振舞われました。

食の文化祭は地元素材を使い「代々受け継がれた」「普段の」「作り慣れた」「家族に人気の」というキーワードで



募った料理を一堂に集め、地域の食を再発見して誇りにする狙いで企画されました。今後も、地域に伝わる料理等、住民の皆さんが様々な発表を行える場を大切にしていきたいと思えます。



△猪鍋の調理